

委託業務仕様書

本書はA Iエンジニア支援事業に係る委託業務内容の詳細について説明するものである。

提案者においては、提案競技実施要領及び本書の内容を踏まえ、事業目的を達成するために実現可能な内容について、事業提案書によりできるだけ具体的に提案すること。

1 委託業務内容

A Iエンジニア支援事業業務委託に係る提案競技実施要領「4 委託業務内容」に記載する教育事業の詳細は以下のとおりとする。

(1) A Iエンジニア教育事業

これからA Iを使ったサービスの開発・提供を始めるため、A Iの原理、実装、最適化までのソフトウェアの開発に必要な工程を体系的に習得することを目標とする。

開発実務で利用できる機械学習の手法を理解し、データ前処理及び機械学習について、主に統計的な手法を用いたハンズオン(受講者がP Cを操作しソフトウェアの作成と実行を行うこと)を通して開発実務に必要なスキルを習得する。

- ・実施形式 : Webinar, 動画を活用した講義及びメール, Slack等を活用した質疑
- ・実施時間等 : 期間10日間程度で受講時間合計20時間以上
- ・実施回数 : 履行期間内に2回
- ・受講者定員 : 実施1回につき, 40名を想定
- ・実施日程 : 2020年11月頃を想定

(2) A Iエンジニア応用教育事業

A Iのサービス構築に必要な工程を習得することを目標とする。P B L (Project Based Learning : 実際のA Iサービスを構築するプロジェクトを模擬した教育方法)により, A Iを用いて解決したい課題を提示し, 受講者が, その課題解決のための分析, データ準備, A Iを用いたツールの開発を行い, A Iサービス構築の実務に必要なスキルを習得する。

また, セミナー形式等により急速に進歩するA I技術へのキャッチアップを支援する。

- ・実施形式 : Webinar, 動画を活用した講義及びWeb会議, メール, Slack等を使った質疑
- ・実施時期 : 1カ月以上
- ・実施回数 : 履行期間内に2回
- ・受講者定員 : 実施1回につき, 25名を想定
- ・実施日程 : 2020年12月～2021年1月頃を想定

2 事業提案書記載内容

- ・提案内容についての事業目的との整合性, 事業実施方針等を記載すること。
- ・提案内容については具体的に記載すること。
- ・これまでの事業の実績やノウハウがあれば具体的に記載すること。
- ・業務推進体制, 業務スケジュールを具体的に記載すること。

3 成果物

成果物の提出方法については、特に指定がある場合を除き、印刷物（1部）及び電子データにより提出すること。

4 その他、注意事項等

- (1) 業務の履行にあたっては、実施内容やスケジュールを含め、当研究所担当者等と綿密な協議を行うこと。
- (2) 「1 委託業務内容」に記載する(1)及び(2)の教育事業について、それぞれ異なる事業者にて実施することとなった場合、各教育事業の連動性等を図るため、事業内容の調整を求められることがある。
- (3) 本事業を実施する中で、当研究所において、他団体が取り組む人材育成事業等と連携を図る場合に、実施内容やスケジュール等の調整を求められることがある。
- (4) 受講者からの受講料収入はすべて当研究所の収入とする。
- (5) 契約の締結、業務の履行に関して必要な経費は、全て事業者の負担とする。
- (6) 本事業終了後、当研究所において成果報告等に関する報告会等を実施する場合、受託事業者に対し、本教育事業の成果報告（発表）等を求めることがあるため協力すること。
- (7) 事業者は、提案競技実施要領及び委託業務仕様書に定めるもののほか、福岡市契約事務規則その他関係法令等の定めるところに従わなければならない。
- (8) 本書に定めのない事項及び疑義が生じた場合には双方で協議のうえ決定する。